

標 題 : Fermented dairy products, diet quality, and cardio-metabolic profile of a Mediterranean cohort at high cardiovascular risk
高心臓血管系リスクの地中海沿岸コホートにおける
発酵乳製品、食事の質、および心臓代謝プロフィール

著 者 : G. Mena-Sánchez, et al. (スペイン ロビラ・イ・ビルジリ大学 Pere Virgili Institute for Health Research 生化学・生命工学部 University Hospital of Sant Joan de Reus ヒト栄養科)

掲 載 誌 : Nutr. Metab. Cardiovasc. Dis. 2018 Oct; 28(10): 1002-1011

要 旨 :

背景と目的 : 発酵乳製品は、良い食事の質および心臓代謝プロフィールと関連した。

しかし地中海沿岸住民で、これらの関連はよく特徴づけられていなかった。

この研究の目的は、高い心臓血管系リスクの地中海沿岸住民で、食事の質および発酵乳製品全体およびそのサブタイプの摂取とメタボリックシンドローム要素の有病率との間の関連を評価することであった。

方法と結果 : 開始時の横断解析を、PREDIMED-Plus コホートに募集された過体重または肥満でメタボリックシンドロームのある 6,572 人の男性と女性 (平均年齢 : 65 歳) で実施した。

143 品目の食事頻度アンケートを使用した、そして身体計測、生化学および血圧の測定を記録した。

発酵乳製品およびそのサブタイプの 4 段階摂取量とメタボリックシンドロームとの間の関連を解析するのに多変量調整 Cox 回帰を適合させて、相対リスク (RR) および 95% 信頼区間 (95% CI) を推計した。

発酵乳製品の高い摂取量の参加者は、果物、野菜、魚、ナッツと、全粒パンの高い摂取および白パン、アルコールと、クッキーの低い摂取を報告した。

チーズ摂取が最低の (4 段階) 参加者よりも高い (4 段階) 参加者は、メタボリックシンドロームの低 HDL コレステロール要素の低い有病率を示した (RR=0.88 ; 95%CI: 0.78-0.98)。

チーズ摂取は、高トリグリセリド血症の有病率と逆相関した。

発酵乳製品全体、ヨーグルト、およびその種類は、どのメタボリックシンドローム要素とも関連しなかった。

結 論 : 非摂取者と比較して、発酵乳製品を摂取した参加者は良い食事の質を報告し、特にチーズ摂取者は、メタボリックシンドローム要素である高トリグリセリド血症および低血漿 HDL コレステロール値の低い有病率を示した。

著作権© 2018年 イタリア糖尿病学会、イタリア アテローム性動脈硬化研究会、
イタリアヒト栄養学会、およびフェデリコ2世大学 臨床医学・外科学部。
Elsevier B.V.によって発行された。著作権所有。

キーワード： 食事の質、発酵乳製品、メタボリックシンドローム要素
